

令和6年度 粟ノ保小学校だより

令和7年1月8日 NO.16



ひまわり

羽咋市立粟ノ保小学校
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 輝く未来のために】

◇禅語：而今◇



令和7年が明けました。旧年中は保護者の皆様、地域の皆様に大変お世話になりました。本年も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。今年の干支は巳(み・へび)です。

巳(み・へび)は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルです。

そのため乙巳(きのとみ)の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられます。

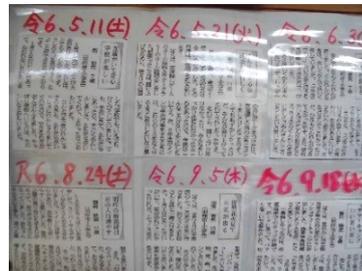
本年も子どもたちが、今までの学びをさらに発展させ、充実した学校生活を送れるように努めてまいります。

さて、新年にあたって、皆さんへ禅語「而今(じこん)」という言葉を紹介したいと思います。

意味は次の通りです。「今というこの瞬間」はもう2度と戻ってはきません。「過去」や「未来」をあれこれ思い悩んで考えるのではなく、「今を一生懸命生きよう」という教えだそうです。私たちは生きてい中で思い悩んだり、迷ったりする瞬間が数多くありますよね。しかし、済んでしまった過去はもう変えることができません。また、まだ来てもない未来に不安や怯えていても仕方ありません。自分で決めて行動していかなければなりません。

できることは、今の自分の行動は変えることができるということです。今を一生懸命にがんばることなのです。どんな未来を思い描いたとしても、結局は『今』を積み上げていくしかありません。そして今は『過去』の自分が積み上げてきた『未来』なのです。深いですね。

◇北國新聞社：『地鳴り』への投稿◇



本校では、学校での学びを深める(学んだ知識を生かす)ために、「書く」活動を重視しています。自分の思いをアウトプットできる子を育てています。帯タイムの粟ノ保タイムでは「条件作文」を年間を通して月2回「テーマを決めて」取り組んでいます。

また、地鳴り投稿にも取り組んでいます。掲載者数は、今日現在で26人(37%)。本校3人に1人の割合です。自分の文が載ると素直に喜ぶ姿も見られます。今度は自分もがんばろうという意欲も高まり全体としてモチベーションが上がっているようです。これまでの掲載文はすべて職員室前に掲示してあります。引き続きがんばりましょう。

◇3 学期始業式・校長の話◇ 1/8(水)



令和7年、新年が明けました。お正月に神社へ初詣に出かけた人も大勢いるかと思ひます。どんな願ひ事をお願いしてきましたか。一人一人どんな夢・目標を立てたでしょうか。まだ立てていない人は、是非今年目標をすぐに立ててほしいと思ひます。

さて、「1年のKは元旦にあり」と紹介しました。少し違ひます。K(けい)が英語になっています。



目標を達成するには、この「K(けい)」がポイントです!まずは、「計画」です。いきなり目標を達成するのは無理です。少しずつ目標に近付くように計画を立てます。次に「経験」です。失敗してもあきらめず、何度も挑戦して、経験を積んで目標に近付いていってください。最後に「継続」です。続けるということです。短い3学期ですが、4月からの進学・進級に向けてひと頑張りです。

最後に今年干支(巳・へび)について紹介しました。

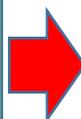


蛇は脱皮をすることから「復活と再生」を連想させ、餌を食べなくても長く生きることから「神の使い」として崇められ、蛇神を祀っている日本3大聖地(神社)を紹介しました。たとえば、七福神のひとつである「弁財天(弁材天)」は蓄財や芸能の女神ですが、弁財天の使者や化身は蛇とされています。蛇の抜け殻を縁起物として財布に入れたり、お守りにしたりする風習があるのは、蛇は脱皮を繰り返して成長することから、金運や幸運を招くと考えられています。成長の年にしていきましょう。

◇羽咋市ハザードマップより抜粋◇ 能登沖西方の場合

能登半島地震から1年。最近、能登沖西方の震源が多くなっていて津波への心構えが必要です。津波に関しては、お子様に「登下校時」に警報が出た場合について話をしていただきたいと思ひます。「津波による避難勧告がでたら、速やかに高台へ避難しましょう」

想定津波(千里浜): 3.7m
 想定津波(滝): 5.3m
 想定津波(柴垣): 6.4m
 第一波到達時刻: 34~35分



避難勧告が出れば、35分で千里浜へ到達。
 粟ノ保地区は、**地震、水害、津波すべての避難所は 粟ノ保小学校 と 粟ノ保公民館**です